

秋田に活力! 実行力で勝負



つじ立ちし、支援を呼び掛ける石井ひろおさん

政治の連携が重要です。わが秋田県は、国と県とそれぞれの市町村が、同じ方向を向きながら連携できている数少ない都道府県の一つです。この強みを最大限に生かしながら秋田県の未来を創造していかねければなりません。

私自身も政権与党の一員として、県や市町村と強固な連携を図りながら「秋田県の発展」「日本の明るい未来」の構築のために全身全霊を傾ける覚悟です。

石井ひろおさんの 決意と抱負

「国のかじ取りを担い、わが秋田県はもとより地方全体を未来へ導けるのは、自民党だけだ」という強い思いをもって、当時は野党であった自民党から、平成22年の参院選に出馬いたしました。あれから2期12年、皆さまの信託を受けて日々国政の場で奔走してまいりましたが、その思いは、ますます強くなるばかりです。

政治で何より重要なことは、大きな理想を掲げるだけではなく、国民に約束をした政策を実行し、しっかりと結果を出すことです。われわれ自民党所属の議員は、政策を実行するという、重い責任を背負って活動しています。

また地方においても、



秋田県

石井ひろお

さん

激戦を勝ち抜く

～ 参院選1人区特集 ～

秋田県選挙区公認の石井ひろおさんは、プロ野球選手から政治家に転身し、2期12年の実績を重ねてきた。郷里・秋田に活力を吹き込むため、参院での経験を生かし、政策実行力で3期目の戦いに挑む。

公式ホームページ



公式Twitter



公式Facebook



石井ひろおさん 3つの政策

- **農林水産業を成長産業に**
生産事業の後押しや輸出促進、ロボット・AI・IoTを活用したスマート農林水産業、担い手の育成・確保、農地の集積・集約化を進め、農業・農村の所得の安定と増大を目指します。
- **地方経済の元気を取り戻す**
原油や原材料価格の高騰対策に加え、中小企業や小規模事業者の元気を取り戻すため、資金繰り支援の強化、事業再構築の環境整備、働き方改革や生産性向上の取り組みを推進します。
- **毅然とした外交、安全保障、憲法改正**
ロシアのウクライナ侵略など、日本を取り巻く国際情勢は緊迫の度合いを増しています。国民の命と財産を守るために、毅然とした外交と国防上の脅威に対応できる安全保障体制を構築します。また、時代に合わせた日本国憲法の改正を目指します。

地方から豊かな日本をつくる

～ 石井ひろおさん サイドストーリー ～



県内の野球教室で。プロ野球の経験を少年たちに伝える

「自民党が政権を奪還しなければ」と決意

石井さんは秋田県出身。秋田高校時代から強打者として鳴らし、大学は一般人試で東京六大学の名門・早稲田大学に進む。六大学のスター選手として注目された石井さんは、社会人野球の強豪・プリンスホテルに入社。25歳でプロ野球・近鉄バファローズにドラフト指名され、以後はプロ野球選手として活躍した。

13年のプロ野球生活で近鉄、巨人、ロッテ、横浜と4球団に所属。いずれも勝負強い打撃と、黙々と全力でプレーする姿で多くのファンを魅了した。

プロ野球引退後はテレビ解説者や西武ライオンズの2軍監督を務め、自ら会社を営んでいた。そこで石井さんに政治家へと転身する機会

「公認候補の選考に大変苦労しているという話があり、石井さん。周りからは、かなり反対もございましたが、やはりもう一回自民党が政権を奪還して、国のかじ取りをしなければ、国も地方も立ち行かなくなると考えた」と、政治家を志したを飾った。



街頭演説する石井ひろおさん。選挙戦を目前に控え熱が入る

変わらぬ情熱で地域、国家に尽くす

政治家となった石井さんが、政治家として挙げられるのを受け、その言葉を今でも肝に銘じています」と語る。

「吉田先生は『汗をかきましよう、手柄は人に譲りましよう、もし何かありましたら責任は取りましよう』という言葉を日頃からおっしゃっている言葉で、国家のために尽くす姿には、秋田県民からの共感が広がり、平成28年の参院選でも民進党元職を破って再選を果たし、東北で唯一わが党の議席を死守した。

「地方が元気にならなければ、国も元気になりません」という思いが政治家を志した原

点。石井さんは3期目に向けて、「東京一極集中を是正し、経済や医療の格差を解消したい」と決意を燃やす。

また、秋田県の基幹産業である農林水産業や、中小企業・小規模事業者への支援を通じ、秋田県に活力をもたらす政策の具体化を急ぐ。

「秋田県は人口減少や、新型コロナウイルス感染症の影響、原油、肥料、飼料の高騰といったさまざまな課題があります。だからこそ、政策の実行力がある自民党で、仕事をし、秋田の活力を取り戻したい」と語る石井さん。政治家を志した当時と全く変わらぬ情熱を胸に、目前に迫った選挙戦に出陣する。

機関紙自由民主購読のお申込みはこちらから

